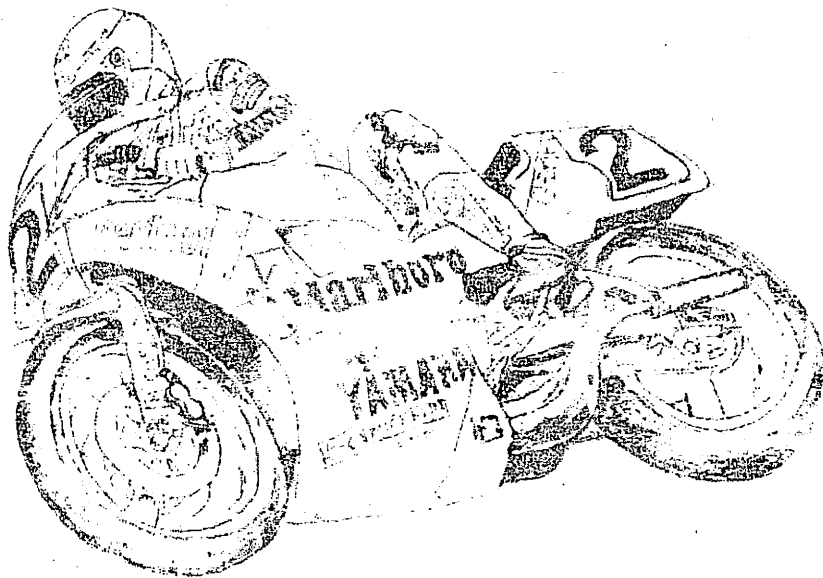


1986' The Summer Training Camp Report

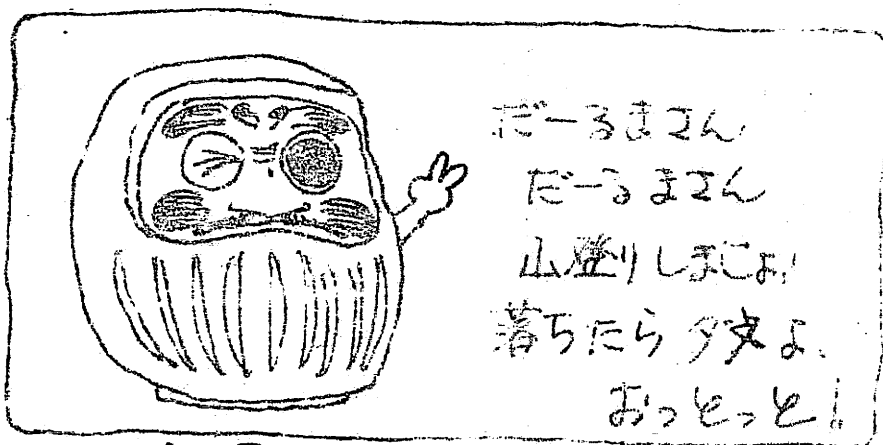
8/22 ~ 9/1



Shimshu Alpine Club

目次 CONTENTS

	Page.
8/23 黒四ヶム——内蔵之助平 (T.S)	1.
24 内蔵之助平——熊の岩 (BC)	2.
25 天峰登攀——本峰アタリ	3.
26 天峰登攀——今ノネ登攀	5.
27 源治郎尾根——源治郎山登攀、中谷ル十登攀	11
28 天峰登攀——雪割	15
29. 天峰登攀——雪割	18
30. 縦走隊 (熊の岩 BC—真砂—平の池—小島—三意) 登攀 (天峰～今ノネ)	20
31. 今ノネ登攀——天峰登攀	22
9/1 下山	25
○作文集 (中谷ル十、甲丸ル十、中央ヶムニ、倉尾R4 etc)	26
○反省 1. 係別 2. 個人別	31



だーるまさん
 だーるまさん
 山登りしまお!
 落ちたら夕文よ。
 おっせっと!

今週のあいことば
 利かEや——。

0725

Aパーティ 高谷 内田 三野 中村(物) 小野 藤田 下平
 部室 8:20 ②
 黒部今川 8:10 ①
 赤沢出合 8:55
 丸山(壁)前 9:50 水と2L(水)①②
 1.500m付近 10:50 ②
 内蔵助平天場 12:20

今日は暑い日でした。また初日から靴が水気できて合宿準備が
 いろいろです。

(記: 下平)

Bパーティ リーダー 森 加藤 甲村(物) 豊田 安田
 作道 内田

8:10 出発 (黒部今川) ①
 9:13 一本 赤沢出合 ①
 10:30 一本 ②
 11:00 作道(加藤)以後から ①
 11:40 一本 ②
 12:30 内蔵助平天場着 ①
 1:50 作道と加藤(平)天場着 ②

今日は合宿の一日目乙荷物かして重い感じの
 体中からあせを流し出してはしまいました。
 (内田)

24

角谷 森 加藤 中村(西) 中村(東) 安田 小野 栗田 豊田
内田 下平 作道

内蔵助平天湯籠	5:10	小雨
約1800m	5:55	
171二段乗越	6:55	27雨
	9:30	27
真砂沢山荘	7:20	27
長次郎谷出合 出立	10:55	
	11:50	
熊ノ岩天岩	13:00	27

昨日に続いで、今日も体調悪く、まじまじ休むが
 なんとか西宮までおこなって、お風呂まで入りました。
 気分復元中。(作道)

B party 山下田 二野 (派出所西側2つ隣)

171二段乗越別れる。
 8:15 ① マサコ沢小屋
 10:15 ② 剣沢小屋
 12:15 ③ 長次郎谷出合 出立
 2:30 ④→⑤ 熊ノ岩 BC

剣沢の派出所でワインをあけると、缶詰めをかぶり
 にももらった。みつまめを喰わせてもらった。

8/25 AIR-TR- 角谷 作道 瓦峠 C72-2 RCOH-1

T.S. 麓	5:40	}	8:20子
取付(750(岩ヶ崎))	6:03		
終了(C72-2)	9:20		

難い所から2.3ヶ所出たけど、1回だけ足を挫いて
 いられた。おまじり高気圧が来たので、おまじり3分
 降るから早く下山して帰った。(作道)

Bパーティー L 森 内田 円峰 Dフェース 剣橋会ルート

5:40 ① TS 発
6:00 ② 取付
8:20 ③ 終了 (Cフェースの頭)

7ピッチ

1〜3ピッチ 40m
4〜7ピッチ 30m

○ 天気がよくてよかったです。一ヶ所トライハヌの所で嫌な所が出てきてビビってしまいました。(内田)

Cパーティー L 下田 下平 円峰 Dフェース 久留米大ルート

5:40 ① TS 発
6:00 取付
6:25 管はみ開け
9:00 終了 (Dフェースの頭)
9:20 ② 管はみ開け

ピッチ数 5ピッチ

4ピッチ目の右へのトランスと凹角はA。

○ 天気もよく岩も硬くてなかなかおもしろかったです。
○ 管はみ中おなごはかりしてあげるとAのところでかんで少し身が出てしまいました。(記: 下平)

Dパーティー L 加藤 三野 Dフェース 富山大ルート

6:40 ① 快晴 取付
9:20 ② 終了 (6P)

取付時に雪が多く気を付けました。

3P目のハーゲンがいっぱいあるフェースが難しい。

4P目のリッジで、遠い松に出会いませんでした。

全体にハーゲンがあまりきいていない。

(三野)

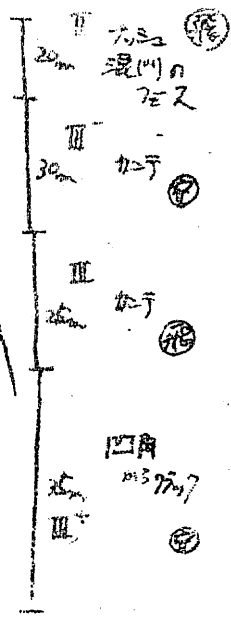
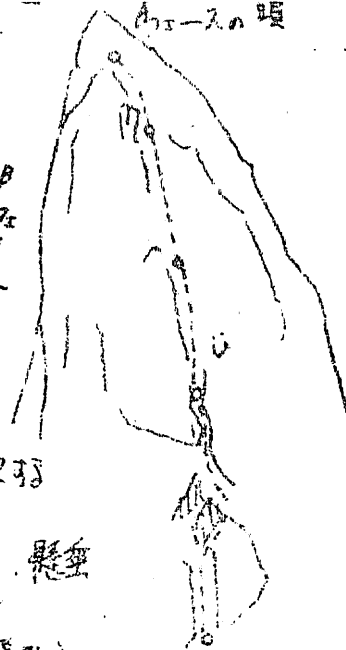
member)

豊田 飛田 A75-スの頭

- 5=30 BC
- 5=45 取付点着
- 6=10 取付
- 7=50 終了
- 8=45 C75-ス頭

* 日の巻は山頂前まで登り、そこで
 息持とて登った。
 1P目のビレイ線で 220m の11-7>E 回収
 ため、豊田は 中指を怪我した。
 A75-スの頭の縦走路に出るのに、懸垂
 20m。

(飛田)



G party B75-ス 京大ルート

Member) 豊田 小野 甲村(記)

- 5:30 ① T.S 麓
- 5:50 ① 取付点着
- 6:20 ① 登り開始
- ↓ 3P 甲村 豊田 小野の順にリフト
- 8:15 ① 終了
- 8:35 ① C75-スの頭

* ルートは、大系通り。特に困難でも何でもないルートだが
 2P目は少々脆い。ルートは、甲村の記

(甲村(記))

8/25 全体行動 : LA 角分 ほか、中村(2) とおく 全員

六峰各ル+登山終了後

- 9:45 Cフェースの頭着
 - 10:30 BC
 - 10:50 BC 発 (加藤BCにのる)
 - 11:20 長次郎のユル
 - 11:50 剣本峰
 - 13:55 BC
- ◎ 5.6のユルは雪があまり
道がツルツル。

本峰アツクは左俣を通、2115m。帰りは、フリートとヒョウ
ら帰天した。
ユル右足がカスとは、2130m 私はこまにものた。

(記安田)

8/26

Aパーティ シミ野、内田

Aフェース 中丸山 ~ 4230m 北条 新村

344m C. のクラック

- ① 5:10 BC 発
 - ① 5:50 中丸山 取付き
 - ① 8:30 終了
 - ① 9:20 Dフェースの頭着
 - ① 9:30 Dフェースの頭発
 - ① 11:30 北条 新村 取付き
 - ① 1:20 北条 新村 終了
- } 30分 1P目で内田がフル・シッ
で登る。
- } 30分 3P目で内田がフ
ル・シッで登る。

- 2:40 294-1 . C. d. クラック 終了 } 2セブチ
- 2:55 4-ネの頭 発
- 4:30 B, C 春

今日(2)のルートはヒレモ私(内田)にしては
 難しく、ヒレでしまいましたとして今回もフル-シク
 をつかってシビアに登りました。さらに集合地点に
 つくのが11時ごろで休む時間もなく朝から夕まで
 ずっと動きっぱなしのヒレはカウカウセキゴンゴン
 うごいてはパンパン足はカクカク 体ぐらたりのヒレも
 シビアな一日でした。

B10-チー L 森 下平 四峰D左入 富山大ルート
 4-ネ 中央44-1 . 844-1 . C. d. クラック

- 5:10 ○ TS
- 5:25 富山大ルート取り付き
- 5:40 登山開始
- 7:35 終了 (D左入の頭)
- D左入の頭についてのは2番目で、3番目のパーティを持って三ノ宮へ
- 8:55 三ノ宮
- 9:20 中央44-1 取り付き
- 9:25 登山開始
- 10:05 ① 中央パント
- 先行パーティが35分間噴霧待ち
- 10:40 844-1 . C. d. クラック 登山開始
- 11:20 ② 終了 (4-ネの頭)
- 4-ネの頭で後続の2パーティを待ち下山開始
- 13:40 4-ネの頭 出発
- 14:55 TS

四峰富山大ルート 6P. 大系どうり
 下部で短く切れたため6Pになる。

42系 宇良44ニ

2P 大系どうり

コンマで20m 留り中央ハント

842-10447 3P 大系どうり

・富山大ルートは高度感があり楽(か)た。
・午前中天気が悪く気分よか左が11時ごろから背中が雨(せおほの息い)たな
りいやなた。

記: 下軍

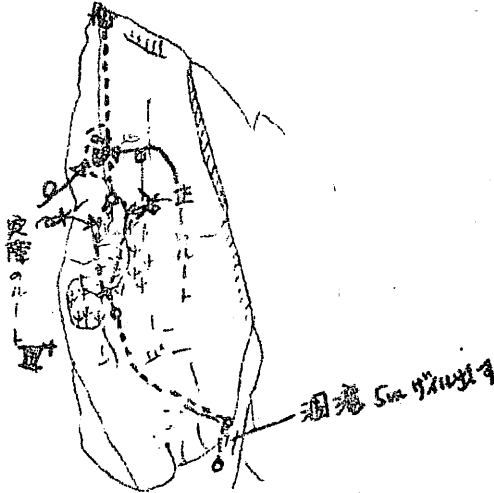
C 10-テ-

下田 作道

VI 峰 B7E-ス 京大ルート
千平 左方ルンセ
左後線ル+上部

- 5:10 ○ T.S. 脱
- 5:50 ○ 取り付く) 涸滝, 3ピッチ
- 7:10 ○ 終了
- 7:20 ○ D7E-ス頭
- 1番に D7E-スの頭へ着き 210-テ- と行て 30窓へ
- 8:55 ○ 30窓
- 9:40 取り付く) 8ピッチ
- 1:25 終了) Last 3ピッチ 先行付

VI 峰 B7E-ス 京大ルート



千平は 大系どうり

左方ルンセは 浮石が多い。



魚高ルンセの出たし
のカマ子を織文
下リヨみロトスル
(IV)

京大ルートも 左後線上部も高度感があり、気持ち良かった。
腹が下っていたから、もっと良かったのになあ。

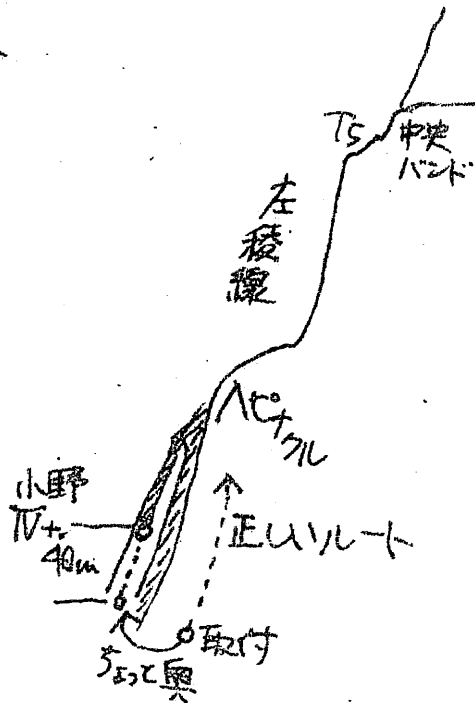
(作道)

8/26 D party 小野・安田

VT 峰 C フェース RCC ルート

千ネ 左稜線 ルート

- 5:10 ① B.C
- 5:40 ① 登山開始 (ル+は大系通り)
↓ SP
- 7:40 ① 終了
- 7:50 ① Dフェースの頭 後続パーティを待つ
- 9:30 ① " 出発
- 10:50 ① 取付
- 11:00 ① 登山開始。IP登るがル+が
ちがう。時間がたりないため
けんすい (40m)
- 1:40 ① 三の窓
- 2:10 ① 千ネ頭
- 4:30 ① B.C



※ Dフェースの頭につくのがほんの少し遅れたばかりに
おれたちはどうほにはまってしまった。登山時間を
四時間として、11:00には取付かなければならないと考え
ていたおれたちは左稜線の取付めざしてつ、はしった。
「ル+はとこに取付はとこに」を安田がさけが、
ヤツは左稜線に異常なシャウネンをもっているらしい。
夕飯リミットぎりぎり取付いたおれは、やがてボロボロ
でぬるぬるのル+にボッコリはまっている自分に気がま
ぼうせんとした。その後二人はけんすいし、お互いに反省
し、時間的に無理だったこと、ル+を変更すべきだったこと
も思い知った。むずかしい思いで池の谷がたをあげ、千ネの頭で
二人はそれそれ思った。一人は「よし、次は絶対左稜線
登るぜ!」と、そいふ人は「ちほ、ハードスリーな絶対小川だぞと

F パー L 飛田 豊田 七峰 C7c ス 剣 綾 会 ル ト
 4c ネ 中 4c ニー 左 7c ス
 魚 津 高 ル ト
 a バン トー b 7c 7

- 5:05 B.C 登
- 5:20 剣 綾 会 ル ト 取 付 着 登
- 5:35 " " 登
- 7:55 終 了 C7c ス の 頭
- 8:05 D7c ス の 頭 着 登
- 9:25
- 10:30 三 窓
- ◎ 11:30 魚 津 高 ル ト 取 付
- 1:50 終 了 4c ネ の 頭
- 3:00 4c ネ 登
- 4:30 B.C 着

剣 綾 会 ル ト 大 系 ビ ッ リ 6P (40.40.40.20.25.20m)
 後 半 の ナ イ フ エ ー ジ は 各 各 快 適 だ だ

魚 津 高 ル ト 大 系 ビ ッ リ 4P (20.10.25.40)
 2P 目 の ト ラ イ ー ス は ま も し ろ だ だ

中 央 バ ン トー コ ン テ

a バ ン トー b 7c 7 大 系 ビ ッ リ 2P (40.40m)
 b 7c 7 は 浮 石 が 多 だ だ

2年 び れ の 登 攀 で 早 く 登 れ る と 思 っ た が だ れ 点 2 の
 ビ ッ リ を さ ぐ す の に 時 間 が か か っ て し ま い 思 っ た よ り 早 く 登 れ
 な だ だ。 つ る べ で 登 っ た。 (浩 太 郎)

8/26 G party L. 中村タ, 中村ユ

Ⅱ峰 Aフェース 魚津高ルート

チネ 中央チムニー aバド bクラック

5:15 ① BC <Ⅱ峰 Aフェース>

5:40 ① 登攀開始

↓3P

7:20 ① 終了

7:50 ① Dフェースの頭

8:00 ① 発

9:00 ① 三窓

9:30 ① 取付

9:50 ① 登攀開始

10:40 ① 終了(3P)

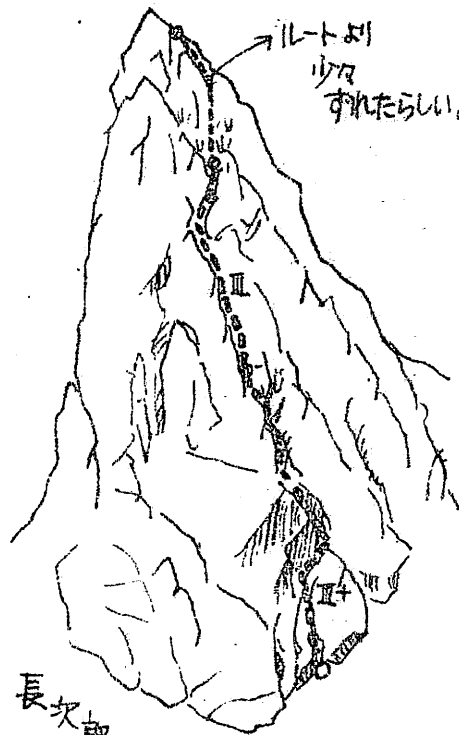
コンテ:

10:50 ① 再開(3P)

11:30 ① 終了 チネの頭

1:45 ① チネの頭 発

2:55 ① BC 着



※ 魚津高の1ピッチ目は情けない
 ことに少々難かしく感じてしまった。
 あとのピッチは、楽でした。
 チネは、中央チムニー、aバド、bクラックともに駆け登る。
 ようにして終了した。
 Ⅱ峰 Dフェースの頭争奪戦は、1馬身の差で勝利したが
 苦しい戦いでした。

5/27 源治郎尾根 五峰登山パーティ 全員

9:40	①	本嶺北壁パーティと1-2の2人で合流
10:10 ~ 10:50		各パーティそれぞれ登山開始
11:10 ~ 11:50		各パーティ登山終了し五峰山頂へ
12:40	②	中座 (25m)
13:50	③	剣岳山頂

- ・取り付きまでのやぶのせいで疲れてしまいました。
- ・源治郎尾根は暑くていやな。

記：下平

A パーティ 山本 作道 内田

E パーティ 中村(2) 飛田

5:25 B,C 登 ① 雪が硬い

6:45 急峻部分出合

8:00 1-2 2人が先に上り

2人がB,Cパーティと同行

9:10 尾根に上り

1-2の2人

10:00 下峰・五峰山頂へ (山頂下) 3:10 25m

11:00 下峰 ②

13:25 下峰発 ③

14:35 B,C 着 ④ } B,Cパーティと同行

今日の朝の雪はとてしなくておもしろい。
 源治郎の尾根はとてしなくておもしろい。
 今日はお天気でフラフラして本峰で休息し
 飛田さんが頂上へ行き、内田は下峰にいました。
 (内田)

Bパーティー： L 三野・下平

源治郎尾根五峰Cフェースルート

10:10

①

二峰Cフェース下

取り付きをさがすが全ピンがなく木でセルフビレイを取りホッチキスで巻いて登り始めた。

10:25

管水人開始

三野さんがエクスを少し登り取付くが少し落ちてそのまわりをIP巻く。その後コンテではい板をこいで山頂下にゆける

11:25

終了 (二峰の山頂)

全々ピンがなくうまくはいりました。取り付きはもと下からたのめられなげ。

さほどいい感じではなかったと思います。

記：下平

1. C party: LA 小野・安田

二峰平蔵谷側 AB フェース登はん

10: ~~20~~²⁰ 取付着 ①

先行パーティーが登っている。

10:40 取付

40m・35m・20m

11:20 終了

11:25 二峰頂着。他の2パーティーを待つ。

取付から下りたのがわかった。富山の兄がメンバー2人「二峰ABフェースだよ」と言ったのでまじめ。小野さんとホウは2人のあとに登ることにした。IPにはIPはつき。2本のハーケンかけ、2本ある。四級一ぐらいのピッチはほとんどなかった。(記 安田)

Ⅱ峰平蔵谷側 B7コースルート

D party L. 豊田. 中村タ.

- 10:40 ○ 取付点
- 10:50 ○ 登攀開始.
- ↓ 2P半
- 11:50 ○ 終了

* ほぼ忠実にルートをトレースしたが、取付点は、やや上方であった。ピンは、少ないものがあった。スラフのようになったカンテで、楽な割に早く登れない。

(中村)

本峰南壁 AⅡ後 : L. 森, 飛田.

- 11:15 本峰登 ○
 - 11:45 取付
 - 13:05 終了 ○
- 4P (20m, 20m, 20m, 20m)

* ルートは大糸よりも、Ⅲ段の4P。

先行する4人組E平蔵谷で強引に追い抜き、各々の差を取付いたが、2P登ったと3Pで既に先行パーティーが112。どうしようもない。3P目で一つ無理に抜いて登った。ところが南壁は人が多かった。(飛田)

源治郎尾根I峰平蔵谷側下部 中谷ルート

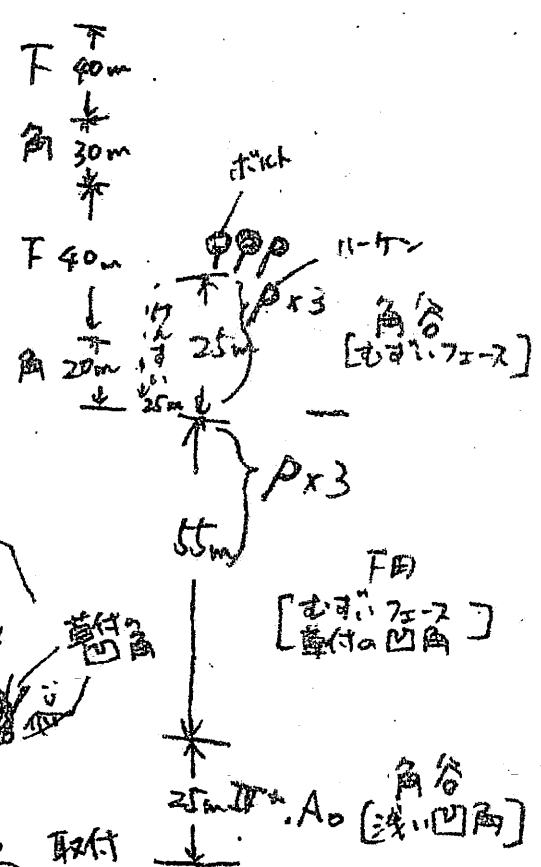
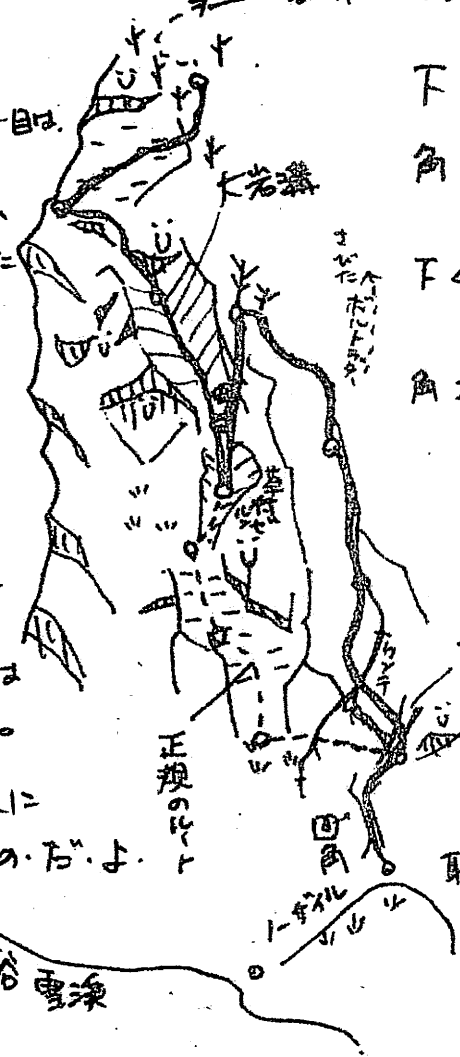
F party 角谷, 下田

- 5=25 ① T.S 麓
- 7=40 ① 中谷ル+2Pの取付
- 14=05 ② 終了
- 14=40 ③ I峰手前 - 一般ル+と合流
- 15=10 ④ I峰
- 16=50 ⑤ T.S 着

は、木のヤブ(踏跡はしかりある)

中谷ル+の3ピッチ目は、
 水平トラバース。
 へんなル+に導かれ
 ると、私たちがいた
 はりにほります。
 大岩壁の出石の
 ポイントが抜けて
 してアドレナリンが
 たくさん出た。
 ガラクが無ければ
 グリで行くことも
 よい。
 上部壁との接続は
 とてもよいと思う。

平蔵谷には、もっと大人に
 なって近づきたいものだよ。
 by Yeppe! 平蔵谷 雪渓



8/28

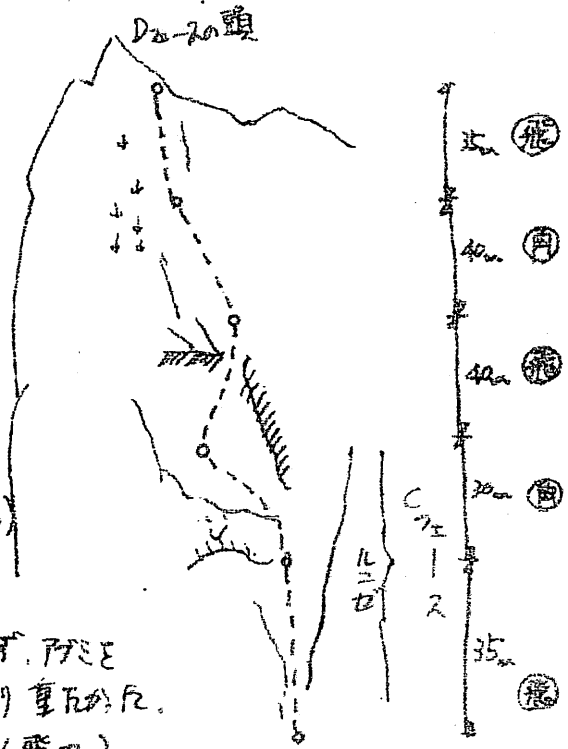
A party : La 角谷 飛田

Ⅲ峰 D₂₀-ス 又留米大ルート

- 7:10 ○ BC
- 7:35 取付
- 9:45 終了
- 10:05 C_{7E}-ス頭薙
(B.C partyと合流)
- 10:30 BC

- 1P 味の五ノス〜ス₇₇" (IV)
- 2P 七ノス (IV)
- 3P 七ノス〜ト₁₁-ス〜凹角(ⅢA)
- 4P:5P 卓付の七ノス (III)

* 3P目のト₁₁-ス〜凹角が核心。思はず、アミエ
便しては、E。ポリ₉=2L はヤリ重瓦がた。
(飛田)



B party. C_{7E}-ス 剣菱会ルート

L. 中村タ. 中村ユ.

- 7:30 ① 取付着
- 7:40 ① 登攀開始
{ 4p half. (40. 40. 50. 50. 20)
- 9:15 ① 終了

* ルートは、ほぼ大系通り。しかし、登っていくと、RCCに居るはずの
コーナーがビレーをしているのではないかと、思はず放屁して
しまいました。残念なことに、ナイフリッジは、ユキ₁₁がリード
してしまい、オクルに立てませんでした。朝遅く取り付くと、
暑いし、後航₁₁-ス₁₁はくるし、ろくなもんじゃござりません。
しかし、簡単な割には、案外なルートです。

Ⅷ峰 B7c-ス京大ルート
 △1Pター: L安田 下平 下田 B7c-ス京大ルート

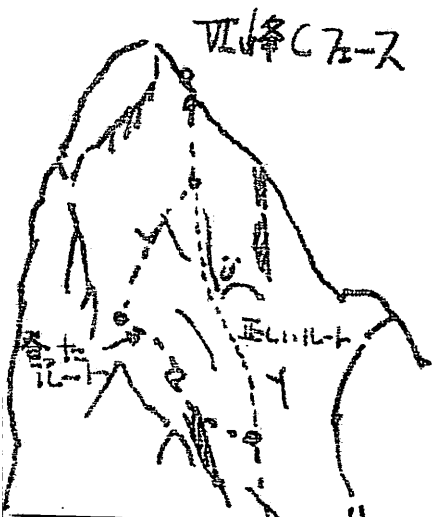
7:10 ○ TS
 7:25 取り付き
 7:35 登山人開始
 8:45 ① 終了
 9:35 TS

Ⅷ峰 B7c-ス京大ルート
 3P (35m, 30m, 35m) 大森とろり

京大ルートはリッジに出ると高度感外おっとおもしろかった。
 1P目のテラスにひょっと顔を出すと、目の前に作道が残した。
 ワンゴがのっていた。その下の岩外ぬれしていたことと思
 い出した僕も ワンゴエキスが流れてたマとを知らず驚いたが
 たくさすのをあげた。まとはちとまれのルートへ行くかです。
 記: 下平。

C party C7c-ス RCC ルート
 L森 豊田

7:10 B.C. 登
 ○ 7:30 取付
) 7P (30, 30, 30, 30, 20, 40, 10)
 9:00 終了
 ① 10:00 C7c-ス 登
 10:30 B.C. 登



4P目で剣積会ルートに入ると
 しまい、RCCにもどるのに ちよと
 たいへんだ。た。ル+ファインテン
 グには気をつけた。ルートでした。
 (三持太郎)

VI峰 AZE-2 中大ルート

7:10	○	T.S. 発) 3ピッチ 25, 35, 35
7:35		取り付く	
9:35		終了	

ルートは 大系 どうし。

2ピッチめのピシ点で アブミ を出してロイした。
2ピッチめは Ao を 2回も使ってほしかった。残念!
お手ぐさ が 1ピッチに ためていた。(作道)

Fパーティー L.加藤, 三野, 内田

VI峰 Aフェース 魚津高ルート

7:10	T.S. 発 ①	1ピッチ 35m
		2ピッチ 10m
7:35	取り付き ①	3ピッチ 35m
		4ピッチ 35m
10:20	終了 ①	

大系に西級と書いてあるが 僕にはとてつもなくむづかしいと
感ぜられた。3人で立てるテラスがあまりなくピシイが
大変だった。(内田記)

森, 下田, 加藤, 三野, 中村(1), 中村(2), 豊田, 安田, 飛田, 小野
内田, 下平, 作道

11:25	T.S. 発) 長次郎 右俣で 雪割	
12:30	休けい		直上, 斜降, 直降, グリセド
1:15	T.S.		滑落停止

途中でユキリシ 頭痛のため降りる。

休けいの後, 内田 調子悪く 加藤と 一緒に降りる。

たいが、雪に ためてきたような気がするが、

本当は どうなのだろう?

ウルトラマンは、雪が固い、気色悪くてセゲなま。

2年になっても、逆さ滑りのピシルステップはやりたくないよ。

A party 三野 作道

四峰 D7-ス エ留米大ルート

5:12 T.S. 発

5:45 取り付く

25mほど 三野さんが登って 調子悪いので
1本でけんすいにて 1本で確保しながら、ラ
ニングを回収して 降りる。

6:35 D7-スの頭に向けて出発

7:10 D7-スの頭

天候が悪いので 4ヶ所を止めて 雪割にたまる。

4ヶ所が雪割にたまる 非常に悲しかった。
でも ピンケルストップが 手もとに全然できな
いので 仕方がないと思ったりした。(作道)

Bパーティー L 森 下平 四峰 A7-ス中大ルート

5:10 ① TS

5:20 取付し A7-ス中大ルート 取り付き。

5:30 管束人開始

6:55 終了 (A7-スの頭)

7:20 D7-スの頭着 後続パーティーを待つ

8:00 D7-スの頭発

8:30 TS

四峰 A7-ス中大ルート

3P (30m・30m・20m) 大系どろり

今日はめちゃくちゃ風が強くて苦しかったけどフリーで行けて
良かった。

1P目終了点でのピシイは すごい体制でいやだった。

でも今日はルート中にきたなりの物音が 響いてよかった。

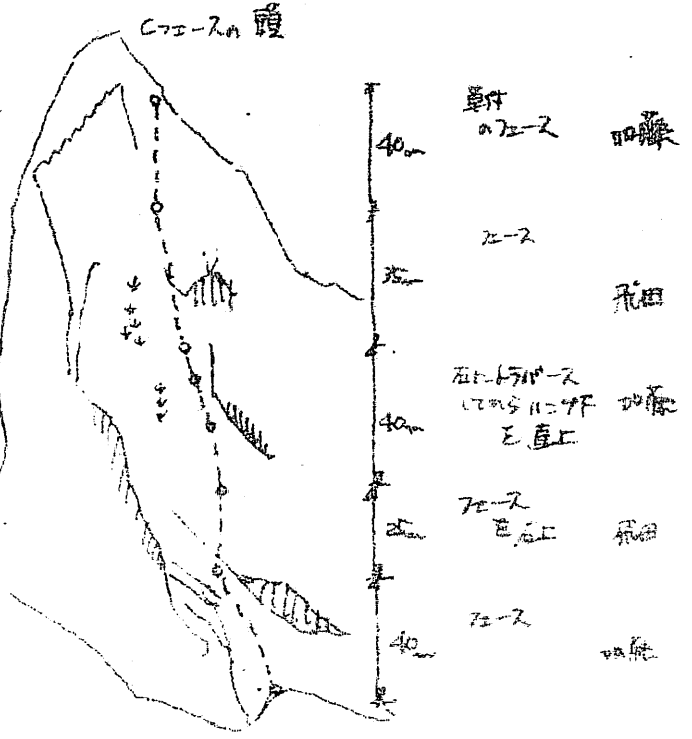
記: 下平。

D party : La 加藤 飛田

VI 峰 (7E-2 RCC ルート)

5 = 10 ① BC
5 = 30 取付
6 = 50 終了

* 今日朝の風が強く
ゴールも風の音に消えれど、
滑り完璧にトレースできたのが
うれしい。取付付近にピタッ
1枚おいたが今日は危ない金曜日。
さあさあのように見捨ててくれたの
でした。(飛田)



雪訓パーティー L. 角谷 森 加藤 作道 下平
小野 飛田 豊田 瀬川 甲村(少)

8:45 ① 強風 T.S.
8:55 長次郎 雪溪 石上 上部
雪訓 キックステップ
クリセード
滑落 停止
コンテュアス (大阪方式)
10:55 T.S.

* 上級生がコンテの練習をしているのを座って見ていたら
上から飛田さんと瀬川さんが降りて来てあわててしまっ
た。(下平)

8/30

8:30 Aパーティ

山森、三野、作道、内田、平、中村(少)

長次郎谷 → 二俣 → 池の平 → 三ノ宮

5:15 B、C 死 風強し、雪が硬い。

6:22 長次郎谷の途中で一本、同上

7:00 真砂の1屋 ①

9:40 平の池 ① ~~三ノ宮~~ 毛の最高。

10:20 小窓

12:15 ~ 45. ^{一本+} 平の池で雪を履き置

1:40 三ノ宮

Cパーティ

下田、瀬川

川崎、久留米大北

今津、中央大ニ、～、大万の利三川大北

(平利カシ加わす)

8 不備

天場 5:00 発

取付 5:30

開始 6:00

終了 8:00

1P 40m

2P 35m

3P 30m

4P 40m

5P 40m

瀬

下

瀬

下

瀬

晴山

風がよ

3P目の核心部は思ひの外に少くはなかつた。(一年の晴山
が積雪がたつて足持物に似た。) Aの2リ+2リ
Cの道中からと思う。

8:30 Dへの頭置

9:10 三ノ宮

20

00

☆ 11月12日

取付 10:20

終了 11:45

2P. ルートは又系どうい

☆ 11月17日 朝日新聞

開始 12:00

終了 2:00

1P 心付川から左岸に、スズメバネの合流

2P 河川の両側の斜面を歩く

3P 山頂の部分を歩く

おまけ 下田エコーランド。見物あり。おまけは白川沿いなど。

2:45 三ノ窓へ

3の後のバー

(せがわ)

Dparty L. 加藤 中村タ 高峰中大ルート

6:30 ① 取付

3P

*最後の1P 魚津高に合流した。

7:00 ① 終了

出たしが、クラック通行は行くとむすかしい。

7:30

8:30

① D7E-スの頭

9:00 ① 三の窓 このあと、Cパーティーに中村加ゆり、加藤さん。は。そのまま、三ノ窓入る。(中村タ)

E11-ス L. 小野 飛田

D12-ス 富山大 ~ 千二平左後線

5:10

BC ①

5:50

D12-ス取付

4P

8:10

終了 D12-スの頭 ①

C.D.Eの3P-ス
- 幡田、千二平へ

* ルートは又系上より、
初め、日があつたが寒かった。

9:00

三ノ窓

①

2/

9 = 40

左後線取付



(下部 8p 上部 4p)

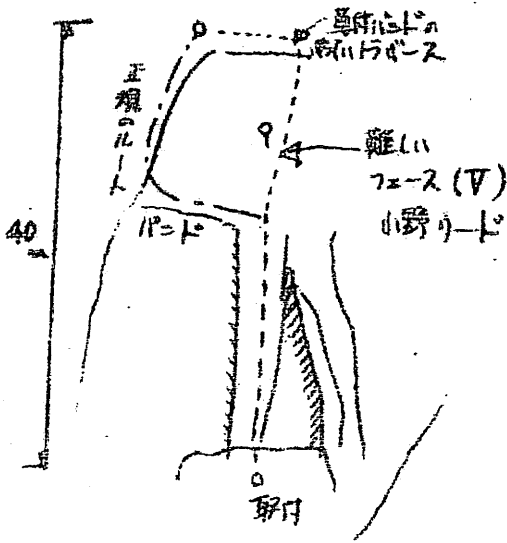
15 = 10

終了 ①

15 = 40

三、窓

* ルート全て、つぎで登る。



左後線

17日、凹角のあと、リッジに
おわりにつき、正面のフェースを
登り、窓を見つけた。

左後線に登っている途中で、
ちびと上を見上げたら、
← 42年の鏡、三窓の頭
クオパルニードルが、ニードル
について、ちびで“おとぎの国”の
に見えた。

(記、飛田)

8 / 31

A.P.T.S - 百谷、作道

千代
U島

北条・新村ルート、94km - C.d 7700
C.P.T.S 剣峯会ルート

6:20	○	3a窓発	
7:00	○	取付付<	北条・新村 30% 40. 30. 40
9:00	○	終了	
9:35	○	取付付<	94km - C.d 7700 20% 35. 35
10:31	○	終了	
1:20	①	取付付<	剣峯会 50% 40. 40. 35. 10. 35
2:45	②	終了	
3:?	③	T.S.	

ルートは 可なり 大系 2通り

北米・新材は けこう せぶって 難しく、ニハカたのて
 アブミを 出して ほうした。g.c.d は 快通で、
 ジャミングが 初めて バックリ 来た。E.a.z. ういからた。
 キンネの 頭で 鹿島 橋を 見ながらの ランコは 10ガ
 雄大に なって よい。みな 2L に おすめ の 場所！
 剣後会は ナイ エッジが かんこい。写真も 撮って
 もして Nice. 気持ち 良かった。(作通)

Bパーティー: 森・下平

42ネ 左下 左方カンテ・V峰 Aアース 魚津高

6:10	①	三ノ窓
6:55		左下カンテ取り付き
7:05		登山開始
8:50		左下カンテ終了
9:05		左方カンテ登山開始
11:00		終了
13:10	ガス	Aアース取り付き登山開始
14:05		終了
14:40		TS

42ネ 左下カンテ
 SP (20m・30m・30m・^{30m}40m) 大衆とろり
 左方カンテ
 SP (20m・30m・35m・^{35m}40m) 大衆とろり

V峰 Aアース 魚津高
 3P (30m・40m・40m) 大衆とろり

42ネの取り付きで 下痢をしたけど その後、調子はよく
 楽しく登れました。来年はぜひとモリードしてみたいと思
 います。

記: 下平

D party L加藤, 中村タ 左綾線 ~ 久留米大ルート.

6:30 ① 取り付き.
7:00 ① 登攀開始

11 P.

12:00 ① ナネ頂上終了

1:45 ① 久留米大取り付き

5P

3:55 ① D7エースの頭 終了

4:40 ① T.S

* 左綾線は、下半分がだらだらと長くて気が狂いそうだった。やっぱり難しいけど来年はフリーで行けそう。

* 左綾線でくたびれはてて、A7で行った。しかし、バランスのむずいフェースが、なんとも快感。

(中村タ)

E12-7A-1 三野瀬川

午永 左D120 ~ 左綾線
D120RCCは中止と判別した

7:00 6:00 三ノ尾

6:30 T2aと3aとE117<

4P2" T5に出る。(3P2" 左綾線Lに23)

落い下石が多ク、心も古...

8:00 T5

4P 40m 11ト

5P 35m 三ノ

6P 40m 三ノ

7P 40m 三ノ

8P 40m 三ノ

左綾線は日かおた302
おたおた... とおも 3a111
↓おたおたみえ2.か.22
2した。

三ノ尾は 三野瀬川は足がつかない。三ノ尾の頭がぶらぶらして
E12-7A-1 中止にした。

F party La 飛田 豊田

千代中央私一 a11:b675.7 ~ D11-2 富山大

6:10 三ノ窓 ○
 6:30 取付着 先行11°-75-0117 順番待
 7:00 取付
 ↓
 8:55 終了 ○

5p (40m 35m 35m 35m 40m)
 飛 豊 飛 飛 豊

千代の頭で 11°-75-
 合流して VI 峰へ向う

10:10 千代飛
 11:20 取付着 * 他11°-75-0117 登りなかり
 急ぎ 小野が加わす
 11:45 取付 ○

6p (20m 20m 40m 40m 40m 40m)
 豊 飛 豊 飛 豊 飛

14:45 終了 ○
 15:10 D11-2 脱走 * ビバーク明けで 頭がホー
 15:40 BC 1217. 及び 調子が上が5000ft.
 ルートは 大系どおり

(飛田)

9/1. 下山

- 6:50 ① BC 脱
- 8:40 ① 雪渓を下り真砂
- 9:45 ハコ段乗越
- 11:00 ① 内蔵之助平
- 2:00 ① 黒野么

(中村)

↓
 扇沢 - 松本へ

25

25

この日は各パーティーに分かれてハッ峰W峰のABCD各ベースを登ったあと一度下谷に戻ってから左俣より本峰に登った。左俣をひたすら登り、コルから岩の上を本峰に向かって登った。本峰の頂上は、初めてだったが、わりと広い所だった。しかしカスがかかっている景色はあまり良くなかった。ところが豊田さんが山の説明のために指をさすとみるみるその部分のカスが晴れていった。これは超能力か、念力のためだと思った。帰りはグリセドで下谷まで下ったが雪がかたく所々凍っていてじびっていた。でもちゃんと熊の岩に着いたので「よかった、よかった。」 (内田)

僕が中谷ルートを登ったこと by みっちゃん

前日、私は寝こんでしまい、この日も体調はよくなかった。1日目出だしはトップでは、どうも体が重く、AOでも扱けられない。いったん、クライムタウンにて、ツッツをセッティングして、やっこころる。2日目トップ下田で、ペイ君は、なかなか“OPEN!”と叫んでくれない。かれこれ1時間もビレーして私は頭にきた。“なにしてんねん。”と怒鳴りそうになった時、バーンを打つ音がする。“OPEN!”登っていくとどうも難かしい。体調のせいでは、ないようだ。どうもルートを間違えたようだ。10m程恐怖の6級草つき岩混ドリクライムをしたあと、ボルトを2本カンカンと20分ぐらいで打ち込んで懸垂。“25mで足りるわ。”と下田下りて行くが、どうも空中ブランコになったようで、やっ下りる。洞くつテラスで休けい。2人とも疲れてしまって、大岩溝では、下田がボルトを引き抜きアリアリ怒っていた。やっ終馬に出た時は P.M. 2:05分。30分ぐらい技量遠松のやぶこぎをして、やっ源治郎の主稜へ。雨は降ってくるわ、下田の“みっちゃんす”さるいよー。”もあまり出なかった、最高の1日だった。

8/26 A Party L. 三野, 内田.

天峰 Aフェース 中大ルート ~ チネ北条・新村 ~ G4ムニー.
C.D クラック.

5:50	①	中大 取り付き	} 内田. フルージックを使う。
8:30	①	終了	
11:30	①	北条・新村 取り付き	} 内田. フルージックを使う。
1:20	①	終了	
2:40	①	G4ムニー c.d クラック 終了	
2:55	①	チネ 脱	
4:35	①	T.S	

この日は天峰とチネ登攀の日だった。まず、Aフェースの中大ルートである。これは僕にとって、とても難しく感じられた。A0を使ってもなかなか越えることが出来ず、とうとうフルージック登りをしてしまった。このためとても時間がかかってしまった。Aフェースの頭からアップザイレンしてDフェースの頭の集合場所に付いたのは、じりであった。このため、ほとんど休まずに三の窓へ、そして、チネ北条・新村、取り付き点で頭上から、こぶし大の石がビュッと音をたてて降ってきた。そして近くにいた、おっさんの靴に当たったみたいで、そのおっさんは、とてもおこっていた。そして、北条・新村、これも私にとって非常にむずかしく思えた。アアミを使おうとしたが、うまくいかず、またしてもフルージックで登ってしまった。サイルガリスにはさまって大変だった。そしてG4ムニーからc.dクラックを登ってチネの頭へ。またしてもじりだった。というわけで、とてもつかれてしまった1日だった。(内田)

剣尾根 R4

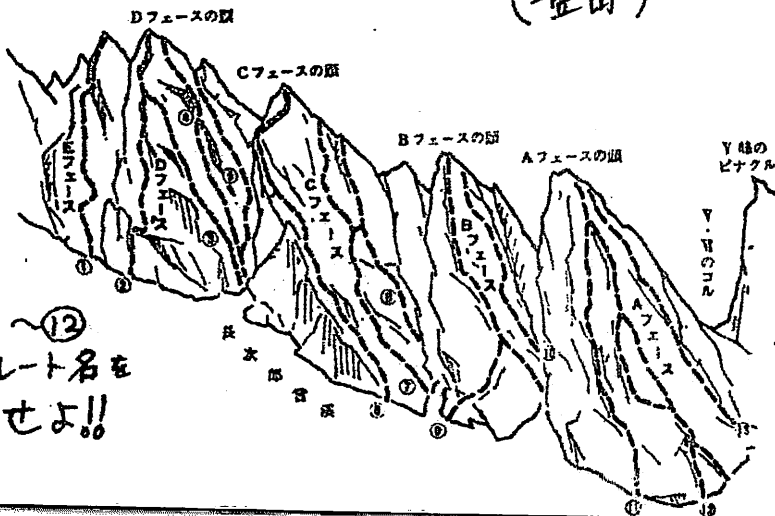
角谷 豊田

- ◎ 5:20 B.C 茶
- 6:00 池谷乗越越
- ① 6:20 ミノ窟
- 7:30 取付 7P+コンテ+2P
- 11:30 終了
- 12:00 茶
- 1:20 長次郎の頭
- 2:15 ミノ窟

長次郎谷上部、左保雪渓でPセシ着用
 ルートは体系じょうり。5P目の4mニ下部は
 ぬれていていやだった。氷柱。上部のルンゼもぬるい
 岩が多く不快だった。剣尾根はヒコヒコ
 むすかいヒコヒコが出てきたがNoギル。(三浦)

池谷ガレをずるずると降りるとヒコには、ドーム
 北壁があた。その横を走る4mニが僕の目
 に飛び込んで来た。まさかこれに登るのではない
 その右にあるルンゼは 取付にもかかっている。体系を
 見るとやはりこの4mニだ。取付くと思つたより
 簡単だったが、B+A0を見るとやはりリードする気
 はしなかった。ヒコはほとんどなくA0する間もま
 く登ってしまった。ミノ窟へ着くと本隊は
 屋敷をしいた。

(豊田)



向 ①~⑫
 のルート名を
 解答せよ!!

h7トラックの想ひ出

竜・太陽

8月30日、俺はチンネのh7トラックへ 瀬川、中村(左)と
 向かた。中央バドまでは、フォードに徹し、パワーを温存させる
 作戦だ。バドから見上げるh7トラック。ディレクトルトは、
 オリジナルを屈指す俺たちに、一鉢の不意を浴びせかけた。
 初登者の名に、山崎岸、というのを見つけ心を踊らせた二とか、
 頭の中を横切った。h7トラックオリジナルは、トラバースから左のカンテ
 に出でかぶり気味のトラックを直上、さらに左のカンテを登るとい
 う3ピッチからなる。ノービンのトラバースを終え、心許ないヒシ臭に
 着く。いよいよ核心のピッチだ。『いっくぞ!!』と瀬川を振り返る。
 こらいうとよの瀬川は、いつも緊張したチャイニーズ顔だ。おかげで
 俺の心がリラックスしていく。トラックは、割れ目なんかでなく
 浅いかぶた4ムニータだ。ケイブアゲし、ピッチアップ、と久保川の
 ムーブで、ウクウクしながら慎重に登る。117はハイ信用でよみがえ
 り、プロテクションはこまめにとっていく。背中のザックが水子みたいで重い。
 一度下のステップまでクライムダウン、セイクアウト、ムーブを組み立て
 一気にいく。続くIVのピッチも、ワンポイントだから難しい。
 “水子ザック”さえ無ければ、クライミングハイはなりそうなるはずだ。
 瀬川もたかしも喜んで登ってきた。『さ、そろそろ三、窓の下から
 俺の心はずむに城崎崎のローサイド、クリフへと飛んでいく。

ヒトク山

初めのヒトク山は、山崎岸、中村、俺、と
 来た。遠くまでゆくのび、嫌だ、俺もまだか、
 実際は、総走は、(とどろ、正、ヒトクは、総走
 来た。ワク、カー、の、後、に、失、敗、し、る、の、を、
 て、合、い、の、命、を、守、り、た、(とどろ、正、) 俺、
 死、ん、だ、ら、う、さ、ら、。 久、々に、キ、ャ、ア、身、の、味、知、る、
 じ、つ、と、な、り、た、。
 後、の、登、り、は、カ、ル、ト、サ、の、と、も、た、い、の、と、服、を、着、て、
 持、り、上、り、の、り、り、と、な、る、登、り、だ、ら、う、だ、ら、う、だ、ら、う、
 2、回、目、の、新、た、な、く、み、だ、り、な、る、も、
 なる、と、な、り、身、の、味、知、る、と、な、る、。

(付箋)

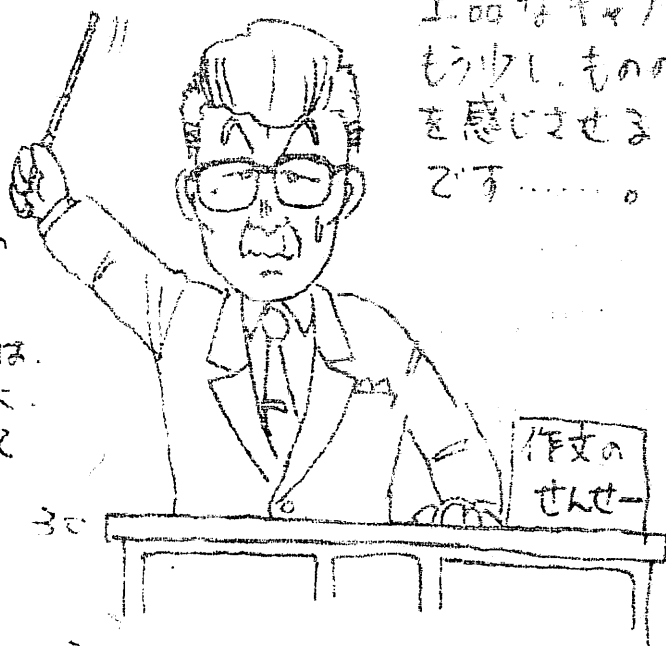
左下.左方カンテ

寒い寒いビバークの朝があけた。さゆやかな朝だ。
「今日は、登攀最後の日だ。」と気合いを入れて三ノ窓を出発したが、しばらくすると、いきなり腹が痛くなってきた。取り付きまでは我慢しようと歩いていくと、取り付き前5mがかぶった岩場である。ハーネスをつけサイルをセットする。森さんは、なんなく乗り越し取り付きへ。僕は「まあ、登ろう。」とクラックへジャンプし、腹に力を入れる。「う。や。ほ。い。」額から油汗が流れる。森さんがサイルを張り、ハーネスが腹をぼろていく。「く。苦しいっ！」爆発寸前。一触即発の状態である。それでも力の入れ具合の微妙なバランスで、なんとか乗り越し、取り付きへ。慌てて用を足し事なきを得た。登攀は、天気も良く、苦しい人工が二度でてきたが楽しく登れた。左方カンテから左綾線上部は、高度感がありカッコ良かった。やはり、この日の僕にとっての一番シビアな核心部は取り付き前のウロエとの戦いにあっただようです。
下品ですいません。

—下平ウロエ—

作文について！

今回は、あま
goodな作品が
ありませんでした。
流石、竜先生や、みちーの
作品は安定しています。
しかし、下平くんの作品は、
センセーショナルなわりには、
お下巻でおねえしてしまって
仲身が少ない。➔



上品なギャグは、
もう少し、ものみはら
を感じさせるもの
です……。

夏石川の反省.

1. 係から.

総括. (L. 角谷)

今年は、上級生が多く余裕をもってパーティーを分け、岩を登ることが出来た。反面、なせか風邪をひいて寝込む人も多く合宿としては、十分満足のものではなかった。

去年の事故のこともあり、2年生には、なるべく1年と組ませなかった。そのため、2年生の自覚(パーティーリーダーとして)、判断等を伸ばすことは、できなかった。が、これは秋の山行で十分カバーできるものだと考えている。

これから冬合宿に向けての課題は

1. 個人的な体力のレベルアップ
2. 全員もう一度、今年の方針をふりかえり、けじめのある山行をめざす。

という点である。各自実践して欲しい。

会計

$$11,000 \text{円} \times 14 + \text{瀬川から} 3450 \text{円} \\ = 157,450 \text{円}$$

Essen費 71,370円 492円/人日

装備費 18,880円 1,258円/人

交通費 43,300円 トリバス片道1200円/人荷物代200円
が2代総額4,800円

酒代、その他 4,300円

残金 19,600円を14人に等分し、1400円/人を返すことができました。ドライバー、ライダーのかたごくろうまでした。

尚、有瀬OB古賀さんよりかんぱをいただきました。ありがとうございました。

31 (会計係 小野)

衣類係	(カギ)		
消費量	ガリリ	9000 cc	(78cc/人・日)
	トク	139本	(17本/日)
	ローリク	4.5本	(0.75本/人)

登攀具に於いて、ザイル、シュリング、ピナが足りず結局個装に頼ることになりました。またザイルのセンターマークがずれて「たそか」が多かった。センターマークは一度しかりつけ直したほうがいい。
 プスのポンプ付近から火を吹き、合宿中使えなくなりました。たのびが3台を出してきて、エッセニにも影響がいて、事前チェックをしかりし、特にポンプ付近の修理をしておくべきである。また、新しいプスを購入したほうがいいと思う。

エッセン係から

一二年でエッセンをやめたが冬山のためにやっているという気合が、いまひとつ足りなかつたようだ。夕食も時間がかかる日もあったし、雑に作ったのもあったようだ。ガネ米は量も足りなかつたし、口に合わない人が多く、個人山行で冬山で使い、合宿では他のメニューを考えて、米を炊くようにしたい。ジュースや漬物は毎日の量が、あやふやでもっとしっかり計算しておくべきだった。それとレーショウの量も少なすぎた。

(浩太郎)

気象、医療係

実質的な仕事を何もせず申し訳なく思う。今回の合宿では、体調を崩す者が多かつたが彼らの使用した薬品くらいは、きちんとチェックすべきだった。おそらく、簡単な風邪薬や、消化器薬をもっていないものが多いと思われるので、今後改めて欲しい。

(中村)

2. 個人の反省.

風邪の為、1日寝こんでしまった。チームリーダーが調子をこわすのは、会の雰囲気にも大きな影響を与えたので今合宿の大きな反省点である。自分が休んでしまったため他のメンバーに遠慮してしまい、そのため雰囲気が少いだけになってしまった。私のリーダーとしての自覚の無さを痛感させられました。(角谷)

おひひかり

夏合宿で自分の登攀力の無さを再び痛感してしまった。体力的にも技術的にも ほんと 4年としてがんばらねばならない。1年生にももっといいに教えてあげてあげたい。朝の光が池に輝いたとき、1年生の顔がそれと物語っていた。

体の故障で弱気になり、合宿の雰囲気を乱してしまい反省している。登攀に関しても、異常に時間がかかったルートがいくつかあり実力のなさを痛感させられた。しかし、本チャンは楽しい。(加藤キヨ)

体調を崩し、疲れた登攀となった。もっと緊張して行動すべきだったと思う。事故が無くてよかったではなく、事故の無いのかわたしにやめたというくらいの気構えて来年の夏合宿にのぞきたい。(下田 哲平)

飛田

今回の合宿は 天候もよく、10日間全く行動でき、特に、登攀の数が多く行け、充実した満足な内容であったと思う。しかし、初日、2日目の入山では、かなりバテてしまい、重荷と背負、足と膝の歩行条件力の不足を念じた。また、登攀時間が長く、ロープワークの選択、ルートナビゲーションの不慣れであるなど、登攀能力を上げる必要があると思ふ。今回は、1年生とパートナーを組んだことになった。その場合の状況判断、1年生への配慮もする必要がある。今後の山行で数回組む場合も出てくるだろう。リーダー能力の養生も今後の課題である。冬合宿は体力勝負である。たとえ体力をつけるよう頑張りたい。

途中入山して、2人組は迷惑をかけたかった。道具の手入れができていたの2人組が、山が降りたときに、1人組は、1年生と組まなかった。1年生組にも余裕で登れるように登攀力をアップしてほしいと思ふ。足を休めたのもよかった。

(頼川)

後半からあまり登れなかったが、トップの難は、ルートファインディングやプロテクションの取付、時間の問題など、登攀について数々のことを学ぶことができて満足している。1年生の実力も大幅にアップした。これからの山行が楽しみ!! それにつけても、剣ヶ峰の花崗岩の足下は、大変よい!

安田

今回の合宿は体調もそんなに悪くはなく、なかなか楽しい合宿だったが、体調の悪い人がいて残念だった。はすかしながら、剣周辺の既念があかたかたか、今度でいたいあかたかたか、剣尾根にも行けてよかったし、天候にもめぐまれているように、た、軽登山ぐつで行ったのは大失敗だった。五峰へのトラバースの時など、1年のカービをしなければならぬ。かに、自分の事で生一杯だったのは、なまけなかつた、せめてくつ底をばり換えるなり、ブラぐつをもてくるなりすればよかった。

(豊田)

合宿中、体の調子が悪くて雪訓ができなかったのは、大きな反省点で、その他毎日行動が全てこなせなかったために、会には迷惑をかけたし、自分自身も非常に残念だった。1年王の指導もしっかりとできず、エッセンもテキパキできなかったのは、次回の合宿への課題にしたい。とにかく冬山に向けて今回の反省をよく考えておく事にする。(ユキノリ)

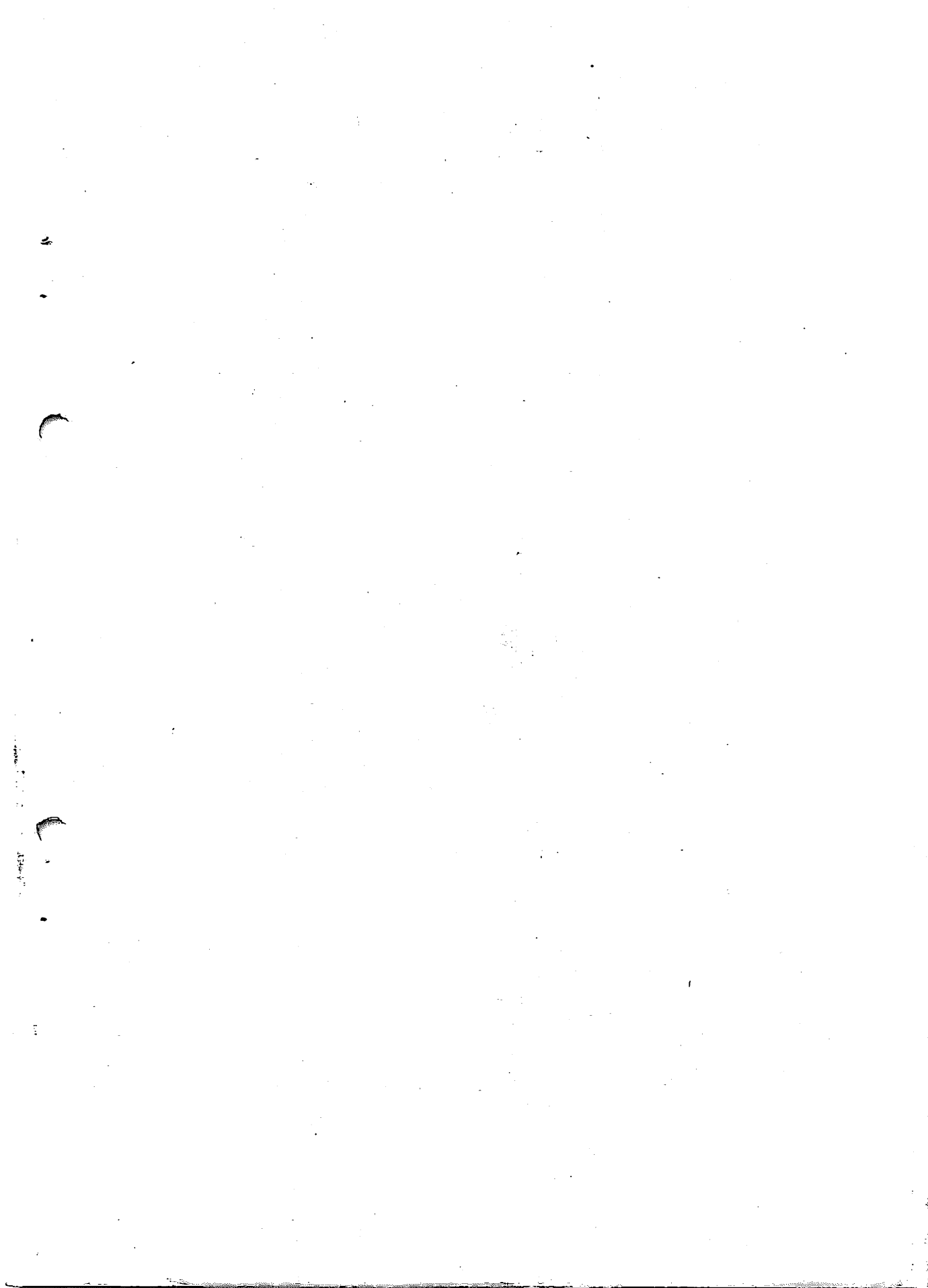
サマ天で誰もいないトレーニングをしたにもかかわらず、しっかりバテてしまった。お先真暗です。しかし、岩登りでは、旧人山行で出来る限りの登攀をしたお陰で、以前よりしっかり登れるようになったと思う。ただ、本来あるべきレベルからすれば、技術的な面が登攀スピードの遅さとなって、露見してしまつた。しかし、チンチン稜線で味わつた、高笑いしたくなるような精神的満足感、最高の収穫だった。(タカシ)

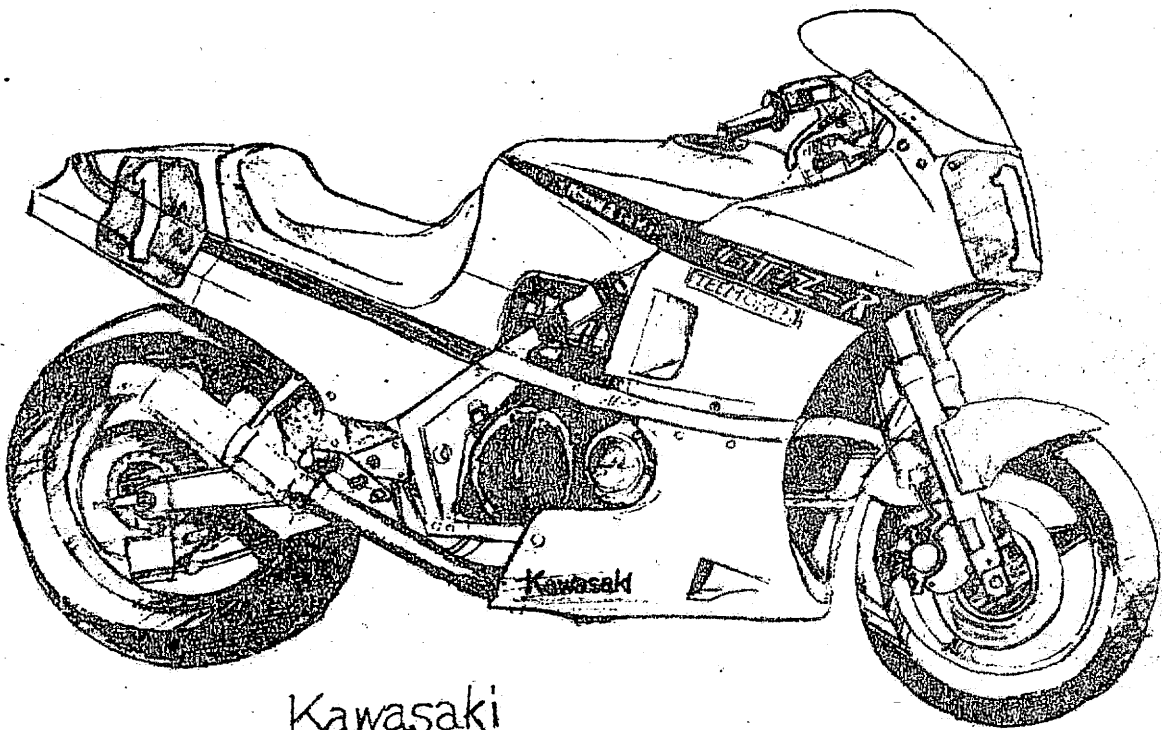
自分がパーティリーダーとなることが多かったが、まるで自覚がなかった。特に時間に関して何も気にせず登っていた。けつこしんどかったが、ちとはグレートアップしたような気がする。でも合宿より国鉄の工場のバイトの方がしんどいと思う。

35

(小泉)

35





Kawasaki
GPz400R
TEEM GREEN F-3 MODEL

1986 夏山合宿報告書

信州大学山岳会 (SAC)

松本市 旭 3-1-1

印刷 飛行 松本部会